

未来を見据えた鋭い質問

中学生に議会の役割や仕組みを学んでもらい、市政に対する関心を深めてもらおうと「中学生議会」が8月20日、市議会議場で開催されました。参加したのは、市内11中学校の代表24人。議長選挙で選ばれた議長役の生徒の議事進行により、地域の身近な問題から市の将来に関することまで、中学生の視点からさまざまな質問が出されました。今回は、各議員の主な質問とそれに対する答弁の一部を紹介します。



堂々と発言する



真剣な表情で答弁を聴く

自然環境保護への取り組みについて

玉造中学校

市の自然環境保護についての方針と取り組みについてお聞かせください。

〔市長〕市が平成30年に策定した「第3次成田市環境基本計画」においては、豊かな水と緑などの自然を守り、環境にやさしいまちづくりを進め、持続可能な環境を次世代に継承していくことを基本目標の一つとしています。その取り組みとして、根本名川周辺および印旛沼周辺における清掃活動や環境学習会の開

催、特定外来生物による被害の防止対策などを実施しているほか、おおむね10年ごとに動植物生息調査を実施するなどにより自然と共生したまちづくりを進めています。

成田駅周辺の道路環境について

成田高校付属中学校

仲町の坂道の幅が狭いので、幅を広くしたり、新しい道路を造ったりしてはいかがでしょうか。

〔市長〕市では、地元の皆さまと話し合いながら策定した表参道整備計画により、上町および花崎町地区の道路の拡幅工事を

行っていました。また、市と地元街づくり協議会との協働で、電線類の地中化工事や歩行者と車両の区分などを行い、安全性の向上を図ってきました。仲町の坂は、伝統的建築物が立ち並び、それらを保全する必要があることなどにより、道幅を広くすることは大変難しいものと考えます。また、建物が密集している地区であることから、新しい道路を造る計画はありません。なお、成田祇園祭など多くの観光客が訪れる日には交通規制を行うとともに、各所に警備員を配置し、表参道の安全対策に取り組んでいます。

市の教育施設について

久住中学校

三里塚御料牧場記念館や下総歴史民俗資料館などの施設の利用者数が増加させることについてどのような対策をとっていますか。

【教育長】三里塚御料牧場記念館については、館内での通常展示のほか、不定期で企画展を開催しています。2年前に文化芸術センターで開催した企画展「下総御料牧場の記憶」が評判を呼び、各種メディアで取り上げられ、三里塚御料牧場記念館の来館者数の増加につながりました。また、下総歴史民俗資料館においても、毎年企画展を開催しているほか、校外学習の場としても利用していただいています。今後も企画展などを計画するとともに、さまざまな媒体を活用し、市外の方にも利用いただけるよう努めていきます。

交通安全対策について

成田中学校

小中学生に対してどのような交通安全対策をしていますか。

【市長】市では、パンフレットや文具などを配布し、交通安全の意識向上を図っています。また、

小学校では、警察官が各学校で横断歩道の渡り方や自転車の乗り方などを指導しています。中学校では、自転車の安全走行について指導したり、交通ルールなどを守る大切さを学ぶ授業を行ったりしています。自転車の乗り方を含めた交通ルールについては、広報なりたなどを活用し啓発しています。また、通学路において学校やPTAから改善要望があった箇所については関係機関と点検などを実施し、交通事故防止に努めています。

下総地区の生活環境整備について

下総みどり学園

場所により、道路に草が生い茂ったり凹凸があったりしますが道路環境の整備についてどのような対策をしていますか。

【市長】市道については、年2〜3回、歩道および路肩の草刈りや枝の伐採などを行っています。道路の凹凸については、路線ごとに舗装の劣化状況を確認し、計画的に修繕工事を実施するとともに、通行に支障がある箇所については補修を行っています。また、定期的な道路パトロールも実施しています。国道や県道

についても、適切な道路環境が維持できるよう、国や県と情報の共有を図っています。

中郷ふるさと交流館について

遠山中学校

中郷ふるさと交流館ができたことによるメリットや、具体的な活用状況についてお答えください。

【市長】中郷ふるさと交流館は、中郷小学校の閉校により小学校のない地区となった中郷地区に地域の活動拠点として新たに誕生しました。中郷地区の方々が会議などで使用しているほか運動施設は市内のスポーツ団体が活用しております。今後は地元の方々と協力し、子どもから高齢者まで参加できる講座や教室なども実施していきます。

航空機による騒音への対策について

吾妻中学校

成田空港のA滑走路の運用時間を1時間延長することとした理由と騒音対策についてお答えください。

【市長】成田空港の夜間運用時間の変更は、さらなる機能強化策の一環として、空港会社から提

案されたものです。この機能強化は、空港周辺地域にさらなる発展をもたらす一方で、騒音地域住民の生活環境に多大な影響をもたらすことから、市では、平成28年9月から昨年3月までに78回の説明会を開催しました。ここで寄せられたご意見を踏まえ、空港会社によるさまざまな対策が行われることとなり、国、

県、空港周辺9市町および空港会社による四者協議会で、さらなる機能強化の実施について合意しました。A滑走路の運用時間変更に伴い、防音工事の施工内容を改善したり、内窓設置工事を実施したりするほか、23時台に運航する航空機を低騒音型のものに限定するなどの対策がとられることとなりました。



出席した中学生議員(敬称略)

玉造中学校…藤島 成邦、山崎 堇	吾妻中学校…川越 暎、若林 慧、加藤 碧
成田高校付属中学校…田村 柁生、西塔 史玖、石井 啓翔、根本 将希、坂本 莉奈、ふるま 将斗、東條 遥斗、花里 海喜	公津の杜中学校…田中 文菜、椎名 彩佳、神原 乃香、香 小川 愛叶、浪川 知恩、大友 日葵
下総みどり学園…石井 啓翔、根本 将希、坂本 莉奈、ふるま 将斗、東條 遥斗、花里 海喜	西中学校…神原 乃香、香 小川 愛叶、浪川 知恩、大友 日葵
久住中学校…坂本 莉奈、ふるま 将斗、東條 遥斗、花里 海喜	中台中学校…大友 日葵
遠山中学校…花里 海喜	



市長
講評

中学生議員からの質問に答える小泉市長

皆さんからいただいた質問や意見は、本市が直面している重要課題や、安全・安心な市民生活に関することなど、大変貴重なものであったと思います。皆さんの成田に対する思いを強く感じました。

皆さんからいただいた貴重な意見は、私のモットーであります「住んでよし 働いてよし 訪れてよし」の生涯を完結できる空の港まちづくり」に、そして今後の本市の発展のために、大いに役立ててまいります。

また、皆さんは自ら質問をするとともにほかの議員の質問や市の答弁を聞き、見聞が一つ広がったと思います。中学生議会で経験したこと、あるいは感じたことを学校の仲間や家族の皆さんにも伝えていただきたいと思います。

そして、本市の発展のため、また、住みよい成田のために、皆さんと一緒にこれからも考えていければと思います。

国際医療福祉大学との連携
について

公津の杜中学校

市内の小中学校と国際医療福祉大学はどのような交流・連携を行っていますか。

【教育長】国際医療福祉大学の近隣の小学校においては、地域の良さを発見し紹介し合う活動として大学を訪れ、見学やインタビューを行っています。公津小学校の放課後子ども教室では、学生にボランティアスタッフとして協力していただいております。

大栄地区の学習環境の充実
について

大栄中学校

今後は他校の放課後子ども教室においても協力していただけるよう協議していきます。中学校では、キャリア教育の一環として行う職場体験において協力をいただいております。また、大学の看護学部の実習を市内の小中学校が受け入れるなど、交流を図っています。

大栄地区で自習室を充実させることについてどのように考えていますか。

【教育長】大栄地区において学校の外で学習できる場所については、大栄公民館の2階に学習室を設けています。席がすべて利用されている場合には、空いている部屋を学習スペースとして開放しています。現在、大栄公民館では空調設備の改修工事を行っており、9月末まで学習室は利用できませんが、ロビーやプラザホールのホワイエを開放し、学習の場として利用できるよう配慮していますので、ご利用ください。

オリンピック・パラリンピック
に向けての政策について

西中学校

外国人観光客への多言語対応についてどのような取り組みを考慮していますか。

【市長】東京2020オリンピック・パラリンピックでは、出場選手や関係者だけでなく、観光も含め国内外から多くの来訪者が見込まれます。本市ではこれを絶好の機会と捉え、魅力ある観光情報の発信と、受け入れ環境の整備を図ることが重要であると認識しています。成田市観光協会ホームページや多言語観光・災害情報配信アプリ、観光パンフレットなどは、日本語、英語、韓国語をはじめとした多言語に対応しています。また、観光案内所などでは英語での対応のほか、それ以外の言語については翻訳アプリを使用しています。案内看板についても多言語併記をしており、本年度はピクトグラムを用いた表記や文字を大きくするなどの改修も予定しています。成田山新勝寺などで活動する「成田ボランティアガイドの会」では、英語のほかスペイン語などでも対応してい

乳幼児の保育施設について

中台中学校

ます。また、オリンピック・パラリンピック期間中は、市内において約300人の都市ボランティアの配置が予定されています。成田の魅力やさまざまな外国人観光客に伝えられるよう引き続き多言語による対応に努めます。

乳幼児の保育施設の確保についてどのように考えていますか。

【市長】市では、地域の保育需要などを踏まえ、地域の実情に応じた待機児童対策を実施しています。平成27年度以降は、認可保育園や認定こども園、0〜2歳児を対象とした地域型保育事業所の新設および公立保育園の大規模改修工事に伴う定員の増加により、保育の受け皿拡大を図ってきました。本年度は、待機児童が多く発生している地域に認可保育園を新設する事業者に対し、整備費の補助を行います。また、私立保育園などに勤務する保育士の処遇改善を行うことで、保育環境の整備を図っています。

※くわしくは市民協働課市民相談室(☎20・1507)へ。